

令和5年度 真備地区復興懇談会における主なご意見について

令和5年3月に改定した「真備地区復興計画」の復旧・復興の取組状況を住民の皆さまにご説明し、ご意見をお伺いするため、令和5年度真備地区復興懇談会を9月23日（土）に、真備保健福祉会館で開催しました。

約50名の方にご参加いただき、お伺いした主なご意見は、次のとおりです。

〔方針1〕 経験を活かした災害に強いまちづくり

- 小田川堤防拡幅工事で未施工箇所（排水機場付近等）はいつ施工するのか
【国市回答】 現在樋門の補強工事を進めており、完了したところから拡幅工事に着手する
- 小田川左岸の堤防強化（宮田堰付近）について教えてほしい。また、水門があるその他の場所の様子も教えてほしい
【国市回答】 宮田堰付近で小田川左岸の古森樋門は、ご意見の場所も含め令和5年度中に拡幅盛土工事を完了させる予定。また、小田川の水門がある場所で堤防強化（拡幅盛土）の対象となっている場所は、既に完了している箇所を含め、令和5年度中に12か所を堤防強化する予定
- 末政川左岸において井原線との交差付近で堤防高が低いと思われるため確認してほしい
【県回答】 堤防の高さは確保していると認識しているが、堤防点検の際に改めて確認する
- 現在、工事の影響で移設している末政川の水位計について、ごぜ橋等の民家に近い所に設置してほしい
【県回答】 要望は伺っており、工事完成後、上下流の水位差や来年の出水期の状況を確認して検討する
- 小田川の堤防拡幅工事をしたが、降雨後に堤防から水が染み出している箇所があった。対策をして、絶対に堤防が切れないと言ってほしい
【国回答】 当時、工事に使用した土も含めて確認しており問題はない。以前、水が染み出している箇所を確認したが、その後は収まっているため、状況を確認しながら対策を検討する
- 小田川合流点付替え事業により、水位はどれくらい下がるのか
【国回答】 平成30年の時の雨と比較すると、付替え工事が終わると、矢形橋で約5m、八高橋で約2m水位が低下することから、堤防の護岸より低い水位で流すことができる
- 小田川合流点付替え事業の効果をホームページで公表してほしい
【国回答】 事業の効果について、数字だけだと分かり難いと思うので、見て分かるようにしたい

- 河川工事の影響で道路の白線が消えている所があるため確認してほしい
【国県市回答】白線が消えたところ是对应している。国の工事以外の場所は、それぞれの道路管理者にも場所を伝えて欲しい
- 小・中学校で始めた防災教育の成果を教えてください。災害の伝承・未来へ伝えていくことが基本であり、小・中学校での防災教育は地元も一緒になって教育していくことが大事
【市回答】令和2年度から全市立小学校の3・5年生、令和4年度から全市立中学校の2年生の総合的な学習の時間において、防災教育の授業を3時間以上実施しているところで、今後も地域の特性や実情を踏まえた実践的な防災教育を継続して推進していく
- 高梁川と小田川の新合流点が従来のようになるなら、付替え工事後も、バックウォーターの影響があるのではないかと考える。高梁川の水が小田川に流れて、またどこかで切れるのでは
【国回答】バックウォーターはゼロにはならないが、付替え工事が完成することで、真備町に隣接する小田川には影響がなくなり水位は下がる。数字で示せるのは平成30年の実績しかないが、矢形橋で約5m下がるということ
- 高梁川と小田川の新合流点の形状はどうなるのか
【国回答】若干直角気味に見えるが、高梁川の下流側へ向けて合流する形状になる
- 小田川合流点付替え事業により、完成後は高梁川の水位が上がるのではないかと考える。その対策として、笠井堰周辺の河道掘削をしないといけない
【国市回答】国がこれまでに大規模な河道掘削を実施しており、今後も必要に応じて対策していただくよう国に要望していく
- 高梁川の笠井堰の改修計画を教えてください
【市回答】小田川合流点付替え事業完了後の整備に向けて国に要望している
- 河川敷の継続的な管理・樹林化防止をしてほしい
【国回答】河川点検などにより現地状況を把握し、対策の必要性を判断した上で適宜実施していく。行政だけではなく、地域の皆様とも協力していきたい
- 洪水時の避難場所を増やしてほしい
【市回答】令和4年度から洪水時の指定緊急避難場所にした真備総合公園体育館及び第2駐車場と吉備路クリーンセンター（グラウンド）のほか、届出避難所も活用していただきたい。なお、やむを得ず逃げられなかった場合に備えて、平成30年規模の浸水に対応できる浸水時緊急避難場所を活用できるようにしている
- 流域治水について、新成羽川ダムの事前放流の協定に期限はあるのか。検討会資料では河川整備が完了するまでの暫定運用となっている
【国県市回答】ダムの事前放流は、高梁川流域の全ダム管理者と平成30年の災害を受けて行動したことで、この取組が全国へ広がっており、今後も関係機関と協議しながら取り組んでいく

〔方針2〕みんなで住み続けられるまちづくり

- 河川工事の影響でゴミステーションが廃止・統合され不便になっている地域があるので確認してほしい

【市回答】河川工事の関係でゴミステーションが移転になった地域は今一度確認する

- コミュニティタクシーの路線変更の検討状況を教えてほしい

【市回答】コミュニティタクシー運営委員会で、具体的な利用者の要望などを把握し、路線変更やそれに伴う採算性などについて検討しているところ

〔方針4〕地域資源の魅力を伸ばすまちづくり

- まびふれあい公園の開園を楽しみにしているが、建屋と広場しかないため、例えば直売所を設けるなど、民間へ開放出来ないか

【市回答】公園の広場や建屋を活用してイベントも開催していきたい。皆様にも協力してもらって、今後の使い方を検討していく

- まびふれあい公園の詳しい説明会・意見交換会（設備・運用等）を開催してほしい

【市回答】まびふれあい公園の開園に向けて、公園施設の内容や利用方法について、説明会の開催を検討していく

〔方針5〕支え合いと協働によるまちづくり

- 懇談会は、来年度以降も継続して開催してほしい

【市回答】今年度が復興計画の最終年度になるため、懇談会としては最後となるが、今後もご意見を伺える場を考えたい

- 5年間での復興は目を見はるものがある。今後は真備を知ってもらうPRが必要

【市回答】今後も、視察の受入れやイベント開催などを通じて、真備の復興状況や歴史・文化、魅力を全国に発信していきたい

- 災害時にいかに自分たちで助け合うか、自分たちに出来ることをみんなで考えていきたい。5年間まちづくり活動に支援していただき感謝している。普段聞くことが出来ない意見・要望、その回答も聞けて大変有意義な時間だった

【国県市回答】今後も、真備地区の皆様のご意見を伺い、一日も早く安心して落ち着いた生活を取り戻していただけるよう、復旧・復興に向けて全力で取り組んでいく

【問い合わせ先】

＜国土交通省に関する事＞

中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
代表 086(697)1020

＜岡山県に関する事＞

岡山県 備中県民局 建設部 河川激甚災害対策班
直通 086(434)7157

＜倉敷市に関する事＞

倉敷市 建設局 災害復興推進室
直通 086(426)3460